

学校 教育 目標	挑戦 夢 ふれあい まちにひかる上小キッズ 【知】自分のよさや可能性に気づき、自らの意思で行動できる子を育てます。(夢・挑戦) 【徳】感動する心を大切に、自分の将来に夢をもち、より豊かに生きようとする子を育てます。(夢) 【体】自分や人の生命を大切に、健康でたくましい体をつくろうとする子を育てます。(挑戦) 【公】地域社会の中で自分と人のかかわりを見つめ、共に生きようとする子を育てます。(ふれあい) 【開】国際人として、多様性を理解し、行動できる子を育てます。(ふれあい・挑戦)				
	創立 54 周年 児童生徒数: 455 人	校長 横山美明 副校長 田邊洋一	2 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 5		
学校概要	主な関係校: 中和田中学校 上飯田中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> 自他ともに多様性を認め、発信する力 地域に生きようとする力 思いや考えを伝え合う力 	上飯田中学校 上飯田小学校 飯田北いちよう 小学校	基礎・基本を大切に、地域とともに多様性を認める子 ----- <ul style="list-style-type: none"> ブロック内授業交流会開催による小中一貫カリキュラムの推進をする。 児童生徒交流会を通じた多文化の理解と発信をする。 泉ブロック人権教育推進地域校での講演会による地域理解と外国籍等児童生徒の理解を図る。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎・基本の定着や個に応じた指導を充実させ、できる喜び、わかる楽しさを味わい、学力の向上を図ります。 ◆子ども一人ひとりが自分らしく生き生きと生活できる学級・学校となるよう、居場所づくり・仲間づくりを進めます。 ◆地域の人に学び、働くことへの見方を深める出会いや体験を推進し、子どもの夢育てを支援します。 ◆心と体の健康づくりに関心をもち、望ましい生活習慣を身につける取組を進めます。 ◆気持ちのそろう教職員集団による学校運営組織を確立します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 教務部・重点研推進委員会	①昨年度の目標「思考・判断・表現の評価の視点を明確にした授業改善」をテーマに授業研究会を伴う研究を行い、授業力の向上を図る。 ②GIGAスクール構想の一環として配当された1人1台のタブレット端末の活用を通して、児童の基礎・基本の定着を図る。
豊かな心 担当 道徳部・重点研推進委員会	①年間を通して多文化共生を含めた児童の人権感覚を養うとともに、人権週間の取組を充実させる。 ②昨年度は開催できなかったが、今年度は状況を見ながらできる形で、音楽集会や上飯田ハーモニーを計画し、音楽を愛するや豊かな心の育成を図る。
健やかな体 担当 体育・特活部	①できる状況の中で、運動会、短なわとび大会などの活動を実施し、体力向上の取組を進める。 ②昨年度の経験をもとに学年ごとに昼休みの校庭開放の時間を増やし、中休みの遊びを充実させて、児童の目標に合わせた体力づくりを行う。
特別支援教育 担当 児童指導特別支援委員会	①一般級と個別支援級の打ち合わせを積極的に行い、交流学习の充実を図る。 ②保健室登校児童と教室を校内LANでつなぎ、教室に戻れるようにするための支援を行う。 ③療育センターや通級等の他機関との連携を密にし、特別支援教育の充実を図る。
キャリア教育 担当 教務部・重点研推進委員会	①状況を見ながらできる範囲の中で、外部講師等、専門の方々を講師として招請し、本物に触れる学習活動を積極的に取り入れる。 ②限られた条件の中にあっても、できるだけ体験活動を重視し、遠足や宿泊等に系統性を考えて積極的に取り入れる。
児童生徒指導 担当 児童指導特別支援委員会	①職員会議等で児童指導に関する情報を教職員全体で共有し合い、支援・指導の徹底を図る。 ②児童相談所や区役所等の他機関と連絡を密にし、個を取り巻く環境の連携を深める。
地域連携 担当 渉外	①状況を見ながらできる範囲の中で、地域コーディネーターを活用して教育支援のサポーターを募り、地域人材の積極的な活用を図る。 ②学援隊、防犯パトロールと協力して児童の安全管理に努める。
いじめへの対応 担当 児童指導特別支援委員会	①いじめを未然防止するため、横浜プログラムの研修を取り入れ、自尊感情を育む教育活動を推進する。 ②いじめの早期発見ができるようにするため、普段からいじめを許さない・見過ごさない雰囲気作りを徹底する。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	①主幹教諭を中心にした部会運営をし、しっかりと情報共有を図り、風通しの良い職場環境作りに努める。 ②慣例や慣習に捉われないこと、会議や組織の在り方を見直し、働き方改革に努める。 ③メンターチームを活性化させ、授業研究や実践提案を通して学習指導や生活指導の実践力を高める。